

会報



再処理企業協議会

さいくる



2021年7月 第16号

2021年（令和3年）8月1日発行

発行：再処理企業協議会

発行責任者：事務局長 濱田任司

〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駁字

弥栄平1-5 再処理企業センター

TEL (0175) 71-2487

FAX (0175) 71-2488

URL <https://www.saisyori-kigyokyoikai.jp/>



会長挨拶



再処理企業協議会 会長

株式会社 ジェイテック

執行役員 四方山 敏彦

初夏の風に肌も汗ばむ中、今年もまた紫陽花の美しく咲く様を目にする今日この頃となり、再処理企業協議会会員企業の皆様におかれましては、ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、再処理企業協議会第10回特別会員総会（'21.4.21）において、会長の大役を仰せつかりました（株）ジェイテックの四方山と申します。昨年度は副会長という立場で本協議会の諸活動に参加させて頂きました。あらためて一年間よろしくお願い致します。

昨年度の総会はコロナ禍の影響でメール審議となりましたが、今年度は感染拡大防止対策の徹底により無事に会員企業の皆様にご出席頂き開催することができました。国内では東京オリンピックが延期となり、1年を経過した今なお変異株での新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあります。青森県内もけって例外ではない状況下であり、2年連続での青森ねぶた祭りも中止の状況ではありますが、引き続き感染拡大防止対策の徹底にご協力頂くとともに、本協議会の事業計画推進にご理解、ご協力をお願いします。

さて、我々が働く再処理工場の状況について、新規規制基準適合性審査に関しては、昨年度において事業変更許可を取得、設工認に関しても初回申請が行われたことにより、日本原燃(株)殿の再処理事業が大きく前進した年となりました。現在、現場では各種安全性向上対策工事が本格化してきており、再処理工場はしゅん工まであともう一步のところまで来ています。しかし、昨今は労働災害が繰り返しており、先に開催された日本原燃(株)殿主催の品質保証マネジメント会議（'21.4.13）の中でも、『すべての現場から不安全箇所、不安全行動を排除し労働災害の根絶へ取り組むこと』が強いメッセージとして発信されました。労働災害については、作業指揮すべき者が不在（作業員のみ）の現場を作らないために元請会社の管理者等を現場に配置することは勿論のこと、配置された管理者等には明確な役割を与えることが重要であり、作業管理体制を逸脱した無責任体制下での作業はあってはならないことです。そのためには、一番近くで現場作業を見ている現場作業指揮者の存在が重要であり、作業内容を把握、対象設備・機器の構造・特性を理解、不測の場合もその影響を理解したうえで、作業員全員の力量と状態を把握していることが要求されます。

元請会社が配置する管理者等の職務不履行の責は、あくまで各企業に帰属するものですが、本協議会が、これに対してどう応えていくか、何ができるのかを考える必要があります。会員企業の自主的な取り組みとして、担うべき役割と実施内容について検討することを事業計画の中でも『今年度検討すべき課題』として掲げていますので、積極的かつ前向きな検討にご協力をお願いします。

このような事業環境の中、本協議会の活動は'12年11月の発足以来、今年末には節目となる10年目の活動を迎えます。会員企業各社が、より高品質な技術を提供出来るような教育訓練・研修および相互にマイプラント意識をもったコミュニケーション推進を通し、本協議会の活動を一層充実させるべく共に取り組んで参りましょう。

副会長挨拶



再処理企業協議会 副会長
三菱重工業株式会社 原子力セグメント
六ヶ所建設事務所
総合所長 堀場 知光

木々の緑もますますその青さを増し、梅雨明けが待ち遠しい今日この頃です。再処理企業協議会の会員企業の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、4月21日開催された第10回特別会員総会で、副会長の任を拝命しました 三菱重工業(株)の堀場と申します。一年間四方山会長の下、皆様方のご協力とご支援を頂きながら、本協議会の活動がより成果を得られるよう精一杯取り組む決意でありますので、宜しくお願い致します。

今年度は、2022 年上期の再処理工場竣工に向け、日本原燃殿及び会員企業各社が連携を図り、全員が竣工と言う目標に向かって、作業安全の確保を大前提として、品質を確保した工事を着実に推進することが求められています。竣工に向けた各種工事が繁忙を極めると共に、3H 作業者の増加が想定され、竣工後の対応に向けた準備も推進していくこととなり、従来と仕事のやり方が変わっていく状況にあると認識しています。又、コロナ禍により、我々の仕事のやり方も、web 会議の多用等、大きく変化していますが、変化が有っても、我々の仕事の根幹は、全従事者一人一人による現場での作業安全の確保と品質の確保にあります。協議会の活動を通じ、一人一人の実力の底上げを図り、ステークホルダーの方に安全安心を伝えることの出来る仕事が出来ればと思います。

再処理企業協議会の使命は、設立趣意書にある通り、①会員企業に共通する技能訓練・教育等を実施し、再処理事業所で求められる高い技術と品質の達成、②会員企業相互のコミュニケーション推進のための事業を行い円滑な行動を実現することです。現状喫緊の課題である作業安全確保に向け、現場管理のやり方や現場指揮者の力量向上等、会員企業に求められる内容を、皆さんの意見を確認しながら、フレキシブルに対応することで、再処理工場の竣工及び運営に寄与できるように活動していきたいと考えています。

山本五十六の名言に、「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。」があります。まさしく、再処理企業協議会の理念に合致する教育の在り方だと思えます。協議会の活動を通じ、会員企業の方々の人材育成を地道に行い、連携良く総力を挙げて再処理事業への貢献に繋げていくよう、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思えます。

ご安全に!

「ミステリアスな歴史・古代の六ヶ所村」(第十四回)

六ヶ所村「尾駮の牧」歴史研究会 会長 相内 知昭

それでは今回からは、平安時代末期の「前九年合戦(一〇五七)」において、「奥六郡」の主である安倍頼時を敗北に導いたともされる、そのキーマンである奥地の俘囚・安倍富忠に付帯する性格について考えてみたい。

彼は、『陸奥話記』において三つの地域(郡?)を治めていたと考えられているが、その一つである「仁土田志(ニトロシ)」についてはこれまで検証してきたとおり、その比定地が野辺地湾を中心とした地域であったとした場合、当云顧問である伊藤一允氏は、安倍富忠の交易品は、当時、北海道を含めた北方との交易品、熊や海獣類の毛皮、鷹ないしその羽やコンブなどがそれであるとし、それに「馬を加えてもいい」と推論(『図説上北下北の歴史』)したが、私はそれに対し、「北方との交易品はそれではない」として、やはり富忠の第一のメインとなる交易品は「狄馬(駮馬)」であったに違いない」と持論(『東奥文化』81号)を展開した。

その理由は、陸奥国鎮守府将軍・源頼義(朝廷側)の安倍頼時からの離反工作として、奥地の俘囚・安倍富忠のもとへ、撰閥家の家司(けいし)さらには近衛府の官人一族の可能性がある下毛野興重(しもつけのおきしげ)を派遣して、甘い言葉を用いて「官軍を起こさしめた」という『陸奥話記』の一節からであるが、それではここから、その源頼義に使者として派遣されたという「下毛野氏」について少し説明して行きたい。

〔※家司:親王家および三位以上の公卿などの家に設置され、家政を掌る職員。本来は律令制で定められた職員であったが、平安中期以降、私的に任用され、国政機関の職員が権門の私的な家政職員である。家司を兼ねる仕組みが形成された〕

天武天皇十三年(六八四)には、君姓から朝臣(あそん)姓を賜り、平安期に朝廷武官として台頭した東国の在地土豪層出身の氏族であり、平安中期以降に、近衛府を本属として権門(撰閥家など)の隨身(ずいじん)や雑色長(そうしきちやう)となつて活躍し、代々馬術に長じ、「ロウ」(馬の口どり)・「競馬(くらべうま)」に活躍し、しばしば陸奥国交易御馬使に任じられている。〔※隨身:平安時代以降、貴族の外出時に警護のため随従した近衛府の官人。※雑色:院の御所・撰閥家などで、雑務に従事した無位の役人〕

以前に、貴族社会の馬の集配・分配システムの中心にいた藤原道長は、大の「馬好き」で、自分のあげた馬の顔は何年後に見てもわかると話したことがあるが、その彼は大の競馬好きでもあり、長保元年(九九九)二月には、それまで16町であった自邸・土御門第(邸)に南一町を加えて、新しく馬場及び馬場殿を新造し、この年の五月八日には、翌日に「陸奥国交易馬御馬御覧」の儀式を控えた前日に、その土御門第の南門から交易御馬を牽き入れて、その馬場において彼自身が、天皇より先に交易馬を見分けていたのである…。それでは、次回も引き続き、道長・競馬・下毛野氏について話して行きたい。乞う、ご期待…。



隨身庭騎絵巻(秦久則)



世界遺産 上賀茂神社「競馬」馬場殿

2021年度 第1回ヒューマンエラー防止実習(現場隔離確認)

5/26(水)にGL建屋において2021年度第1回ヒューマンエラー防止実習(現場隔離確認)が行われ、9社13名の指揮者候補、現場監督者候補の方が参加されました。

今回の実習では隔離の基本事項等を座学で学び、実際の隔離票や隔離操作等依頼票、系統図等を用いながら実際の設備を利用して、隔離状態及び復旧時の確認作業を行いました。

その中の注意点のひとつとして、周辺機器の作業の進捗状況等の必要な情報を工程会議やミーティング等で入手し、関係者と情報共有及び事前調整の重要性を理解する事ができました。



2021年度 第1回勉強会「労働安全」

6/29(火)再処理企業センターB棟大会議室において、今年度第1回目の勉強会が「労働安全」をテーマに行われました。今回の参加者は31社50名でしたが、万全の三密対策を講じて行いました。

90分程の講義では、身だしなみや指差し呼称等の基本的な事から、近年に構内で発生した労働災害の事例を用いながら、類似災害を出さないよう注意喚起を行いました。またリスクアセスメントの紹介では実施時の手順の再確認を行い、リスク低減へ向けた取組みの重要性を学びました。加えて熱中症については、これから暑さが本格化する時期を迎えるにあたり、注意点を再確認する事ができ、とても有効的な内容でした。

結びに労働災害発生と職場環境はとても深い関係性があり、発生低減へ向け活力ある職場づくりが不可欠であるとあらためて確認する事ができました。



現場指揮者教育

7/8(木)に再処理企業センターB棟第1研修室において現場指揮者教育が行われ、9社15名の現場指揮者および候補者の方が参加されました。

今回の教育は、ヒューマンエラーによるトラブル・災害発生ゼロを目指し、「請負工事に関する遵守事項」の内容の理解を目的として行われました。

参加者へは講義に入る前に事前課題として、過去に再処理構内で起こったトラブル事例を題材に発生要因の抽出、未然に防ぐための取組事項を挙げてもらい教育に臨みました。

講義ではグループディスカッション方式を取り、活発な意見が出され大いに盛り上がりました。

今回参加した方々へは今後将来のリーダー候補としてトラブル・災害ゼロの意識を持って日々の業務に取り組んで頂きたいと思います。



健康管理について

株式会社クリハラント 三浦 文敬

三菱重工業(株)和田様よりご指名頂きました(株)クリハラントの三浦と申します。コロナ禍により健康管理の重要性が高まっている昨今におきまして、今回は私が最近実践している健康管理についてお話したいと思います。

私はお酒が非常に好きで毎日帰宅後晩酌でお酒を飲むことが日々の楽しみの一つでもあります。そのせいもあってか年齢を重ねるにつれ体重が増え、健康診断でも肝臓や中性脂肪の数値が要注意と言われるまで上昇してしまいました。単純にお酒を控えればいいのですが、私にとっては逆にストレスになるので無理でした。

元々ジョギングや自転車等、適度に運動もしていましたが、もはやそれでは改善せず、何かいい方法はないかと模索していました。そんな時たまたま YouTube で糖質制限の動画を見つけ試しに実践してみることにしました。

私が実際に行った事は「ご飯、麺などの糖質を極端に減らす」「たんぱく質と脂質をしっかり摂取する」「脂質は意識して魚の脂質を多く摂取する」「お酒は糖質 OFF のビール発泡酒、ハイボール等にする」といったことです。その結果、三ヶ月位経った頃には体重が約 10 kg 減り、健康診断でも全ての数値が正常な状態で改善することが出来ました。糖質を摂らないだけで魚やお肉はたっぷり食べるので、特にきつと思ったこともありません。

たまにお寿司やラーメン等を思い切り食べる日もありますがまた次の日から制限するという生活を継続し、現在も無理なく続けられています。あくまでも私個人の事例ですので、皆様におかれましても自分なりの無理のない方法を何か一つでも見つけて、心身共に健康状態をより高めていただけたらと思います。

次は六ヶ所再処理メンテナンスサービス(株)吉田様 宜しくお願致します。



ブリーダーに思うこと・・・

株式会社ジェイテック 嶋崎 謙一郎

東芝プラントシステム株式会社 三澤様より御指名頂きました株式会社ジェイテックの嶋崎です。

我が家には6月で12歳になったミニチュアシュナウザー(以下「シュナ」)がいます。実家の両親が高齢になり8歳の時に引き取りました。

このシュナは、とあるブリーダーから譲ってもらったのですが、当初は両親にシュナではなくダルメシアン(101匹わんちゃんて有名犬種)を進めてきました。曰く「柴犬くらいにしか大きくならないので飼いやすいですよ。」と。ん？ダルメシアンが柴犬くらいにしか大きくならない？柴犬は小型犬、ダルメシアンは大型犬。性格も運動能力もまるで違うため、飼う気満々だった両親を何とか説得し諦めさせました。

ところが、数日後やってきたのが件のシュナ。生まれてすぐだったので手の平に乗るくらいに小さくて可愛かったのですが、良く見てみると尻尾は断尾、右後ろ脚は指が1本なかったのです。しかもそのブリーダーから「ごはんは生肉を柔らかくしてあげて下さい。」と聞いたと。何といい加減なブリーダーなんだと思いました。しかも両親は犬のことを知っているブリーダーの言う事だからと言われた通りにしたのです。当然、シュナはお腹をこわし体調不良に。おかげであまり大きくなれませんでした。指が1本ありませんが、今では何の支障もなく生活しています。このところ、飼育放棄や詐欺まがいのブリーダーもいます。早く悪徳ブリーダーと言われる業者がいなくなる事を願って止みません。



次は青森日揮プラントの佐藤(光)様 宜しくお願致します。

シンプルですが・・・

六ヶ所再処理メンテナンスサービス株式会社 中村 賢一

太平電業(株)加部様よりご指名頂きました、六ヶ所再処理メンテナンスサービス(株)の中村と申します。私は加部様と同郷の福井県出身です。今回は福井の蕎麦について、ご紹介させていただきます。

福井県は知る人ぞ知る蕎麦処です。一般的には「越前蕎麦」と言われておりますが、福井で蕎麦と言えば「おろしそば」を指します。お店によって違いはありますが、写真の様なそば殻が練り込まれた太目の十割蕎麦を手が凍える程の冷水で締め、辛味大根、鰹節、ネギに辛味大根のうま味を損なわない出汁が効いたつゆを掛けて食す、至ってシンプルな蕎麦です。のど越し等の繊細さは一切排除したかの様な武骨な蕎麦でありながら、嚼んだ時に口一杯に広がる蕎麦の香りの後に微かに鼻腔を抜けるおろし大根の辛味が至福の一時となる事間違いなしです。

福井県には数多くの蕎麦処がありますが、中でもお勧めしたいのが越前市に店を構える「そば蔵谷川」です。辛味大根を3種類ブレンドし、辛味とうま味の絶妙な味わいがあり、太い十割蕎麦に良く絡む美味しい越前蕎麦です。このお店は、食器にもこだわりがあり目が粗い土質の越前焼を使っており、ごつごつした食器は武骨な蕎麦を平らげた後につゆまで飲み干す時に皿のへりに唇が触れたごつごつした感触が武骨な蕎麦を食べた余韻に最後まで浸ることが出来、「食った～」と唸る事間違いなしです。

福井は雪深い場所ですが、是非、真冬にご賞味下さい。

次は、日本建設工業(株)玉井様にバトンをお渡しいたします。宜しくお願致します。



時間を気にしない時間

株式会社ジェイテック 小比類巻 康二

株式会社上組の田中様よりご指名頂きました、株式会社ジェイテックの小比類巻と申します。

昨今のコロナ禍により、旅行やイベントへは行けなくなってしまいましたので、最近はおっぱら「ソロキャンプ」を楽しんでいます。

私がソロキャンプを始めてから、よく「キャンプの何がいいの？」と聞かれることがありますが、そんな時は決まって「時間が気にならなくなるのがいい」と答えています。この一言ではなかなか伝わりづらいのですが、例えば皆さんは飲み会などに行く場合、「〇時に集合」というと、その30分前には家を出て、さらに1時間前にはシャワーを浴びて、そのためには最低〇時には家に居て...というように仕事でもプライベートでも無意識に逆算して行動しているのではないのでしょうか。ところが、ソロキャンプにおいては「明日帰る」以外は決まっていないため、「時間を気にしない時間」を存分に過ごす事ができます。お腹が空いたら食べ、眠たくなったら寝る。人間として当たり前の事を堂々と過ごすだけの時間、それが何よりの贅沢と感じられ、ストレスの解消になります。

読書や釣り、モノづくりや料理など他の趣味と組み合わせると楽しむこともできるので、本当にオススメです！皆さんもぜひ、自分なりのソロキャンプを楽しんでみて下さい。

次は六ヶ所エンジニアリング株式会社の鶴ヶ崎さん宜しくお願致します。





学童野球

夏と言えば甲子園ですが、我が家では小学6年生の息子が学童野球を頑張っています。去年に引き続き、コロナの影響で応援は拍手のみとなっているので、一生懸命拍手で応援したいと思います。



夏競馬

競馬は一年中開催されていますが、夏競馬は他と違った楽しみがあります。この時期は2歳馬が続々とデビューします。来年のダービー馬はなどと思いつきながら観戦しています。また、高額配当が出やすい傾向があるため、一攫千金を狙っていますが、なかなか思い通りにはなりません。



BBQ

夏といえばBBQ。ビールとハイボール。肉、魚貝類、つまみは少し。地元では、天気が良いとあちこちでBBQ。なので、BBQをしている最中にBBQの誘いが・・・BBQからBBQへのハンゴが普通にあります。地元の夏はBBQが定番です。



夏といえば

夏といえば、今年の8月で青森に赴任して20年になります。もともと首都圏在住だったので、赴任したての頃は、お盆休みの帰省で人が少なくなった明治神宮や上野公園などを散策するのが楽しみです。よく東京に旅行したのですが、今は、すっかり青森の気候に順応してしまいました。



「夏といえば」

さいくる de Talk

株式会社シービーエス 六ヶ所事業所



バーベキュー

夏といえば、バーベキューですね。毎年いつものメンバーで2回以上はやりませう。今年はコロナの影響でまだできていないですが、コロナが落ち着いたら多少寒くても実施したいと思います。



アウトドア

サーフィン、キャンプ、スキー、バイク、etc.基本的にアウトドアな趣味ばかりです。夏の日中はほとんど家の中にいません。いるのは二日酔いで調子が悪い時ぐらい。



BBQ

定番のBBQ。ジジンと暑い中、キンキンに冷えたビールを片手に、新鮮な肉、魚介類を仲間達と味わう。最高の一時です。若かりし頃は、余った食材で翌日も開催し、大切な胃腸達に申し訳ない事をしてきましたが、コロナ禍が落ち着いた暁には、歴史は繰り返す、かもしれない。



夏といえば

夏といえば学生時代の夏休みを思い出します。実家にいたこともありよく酪農の手伝いをやらされました。時間がある限り遊び惚けて、宿題はいつものギリギリに終わらせていました。今年の夏は、時間を大切にしながら新しいことにチャレンジしたいです。



夏祭り

私の地元には湖水祭りという夏祭りがありイカダレースやマラソン大会、創作花火大会などのイベントが行われていました。残念ながら今年も2年連続での中止が決定してしまったので早くコロナが収まり夏を満喫したいです。



キャンプ

このご時世だからこそ少しでも開放的な場所を求めて外で行えるキャンプは息抜きの一つです。友人の子ども達とはしゃぐ娘を見て成長を感じながら食べるご飯は格別です!!夜、子供たちが寝ているテントの横で焚き火を囲んで談笑して過ごすゆっくりな時間も大好きです!!

再処理企業協議会 ホームページのご案内

再処理企業協議会では、ホームページを公開しております。当ホームページでは、設立趣意書、かわら版や会報等を紹介しております。また、会員限定のページもあり、入所時教育の申込やお知らせなど多くの情報を確認できます。当協議会では、ホームページの改善やコンテンツの充実に努めてまいりますので、是非当ホームページを奮ってご活用ください。

また、再処理企業協議会では、協力会社の皆様のご意見、ご要望を受付しております。以下にて、ご連絡ください。なお、相談者のプライバシーにつきましては厳重に保護されますのでご安心ください。

●ホームページアドレス

<https://www.saisyori-kigyogyogikai.jp/>

●TEL・FAX

0175-71-2487 平日 10時～16時

0175-71-2488



～行事のお知らせ～

8月27日(金)…トラブル事例検討会



事務局より

暑中お見舞い申し上げます。コロナ対策のため、マスク着用が続いています。気温の上昇に伴い熱中症のリスクも増してきます。熱中症対策として、水分・塩分の補給、適度な休憩、体調のチェック、暑さ指数の把握等が必要です。また、熱中症かと思ったら、直ちに涼しい場所に移して休ませる等対応してください。ご安全に。

編集担当者より



(株)青森クリエイト
野々宮 崇博

青森クリエイトの野々宮です。世界的に異常気象による災害が勃発している昨今ですが、当誌発行の頃にはオリ・パラが無事開催され大いに盛り上がっている事を期待しております。今年度の部会の活動についても、徐々にワクチン接種も始まりまして、年度後半に予定しているイベントは実施したいと考えております。是非ご協力の程、よろしくお願ひ致します。



ATOM Works(株)
宮田 和俊

今年度から広報部会部員となりましたアトムワークスの宮田です。昨年に引き続き大好きな県内のお祭りが中止となりましたが、楽しみを見つけ出し四季折々を過ごしたいと思っております。広報部会も一つの楽しみとして活動したいと思っておりますので皆様のご協力をよろしくお願い致します。



東京パワーテクノロジー(株)
馬場 馨

東京パワーテクノロジー(株)の馬場です。お世話になっております。コロナ禍により企業間のコミュニケーション活動が自粛される中、広報部会活動では広報誌等の発刊が唯一の繋ぎとなっている状況と思っております。マスクで表情が見えなくても何かイベントを実施したいと思うのは皆同じ、来るはずだった未来を見ずして色んなことを諦めていることと存じますが、先ずはオリピックを見てから、じっとその時を待ちましょう！引き続き宜しくお願いいたします。